



# 青 於

5月号



## 1年生と遊ぶ会 (4/18)

2年生が、「1年生と遊ぶ会」の準備や運営を行いました。2年生は、1年生の面倒を見ながら、一



緒に「しっぽとり」や「ドッジボール」で遊びました。最後に、あさがおの種を1年生にプレゼントしました。1年生は、とても楽しかったようです。



## 図書館利用学習 (4/26)

4年生が、図書館司書の五月女先生から、図書室で読みたい本を探すために必要な「日本十進分類表」の説明を受けました。分類表は、0類から9類に分かれていて、2類が「歴史・地理」、4類が「自然科学」などのようになっています。

## 引渡訓練 (5/8)

県南東部に震度5強の地震が発生したことを想定して、訓練を行いました。子



どもたちは、「おさない・かけない・しゃべらない・もどらない・つかつかない」を意識して、真剣に取り組みました。全児童が校庭に避難できたことを確認したあと、引渡のためのメールを配信しました。今年も、保護者の皆様方のご協力により30分以内でスムーズに引渡が完了しました。ありがとうございました。



## 学校まわりたんけん (5/15)

学校のまわりを探検し、地形がどのようなになっているか。また、地形によって、

その土地がどのように使われているのか(家・畑・田)などを調べました。学校に戻ってから、学校まわりたんけんで見つけたことを白地図などに表しました。

朝会の話(5/7)「津田梅子」「北里柴三郎」

新5千円札の肖像画になる津田梅子さん（1864年、東京生まれ）の育った明治時代は、「女性に教育は必要ない」と考える人がたくさんいました。そのような時代に、「女性の教育の必要性」、「女性の社会での地位の向上」を目指して活動した人です。梅子さんは、7才のときから11年間、アメリカに留学し、英語・文学・科学など幅広く学問を学びました。帰国後、日本の女学校で英語の先生になりましたが、「女性は結婚のために勉強する」という考え方に納得いかず、再びアメリカへ留学しました。「女性の地位を向上させる方法」について研究した梅子さんは、女学校の先生をしながら、理想の学校をつくる準備を続け、女子英学塾(後の津田塾大学)を設立し、女性の教育と女性の地位向上のために尽力しました。



新千円札の肖像画になる北里柴三郎さん（1853年、熊本生まれ）は、近代日本医学の礎を築いた人です。33才からドイツに留学し、留学中に、破傷風という感染症の免疫を発見しました。破傷風菌は、世界中の土の中に広く芽胞状態で分布し、擦り傷や切り傷から菌が体内に侵入することで発症する病気です。毎年、日本で40人ぐらいが発症し、1/3ぐらいの人が死亡する怖い病気です。また、全世界で8,500万人ぐらいの人が亡くなったペスト菌も発見しました。ペスト菌は、ネズミの血を吸ったノミが、人の体に入り込み、血を吸うことで感染する病気です。北里さんたちは、海外から入港した船の中にいるネズミを駆除することで、日本への侵入を防ぎました。現在は、世界中でペスト菌がほとんどいなくなりました。後に、北里研究所(後の北里大学)を設立し、たくさんの優秀な医者を出しました。



1年11名

2年14名

3年10名

4年20名

5年14名

6年19名

**臨海自然教室 (5/13~15)**

1日目は、最初に鹿島市にある鹿島製鉄所の見学と鹿島港内一周の見学船に乗船しました。その日の夜、館内ウォークラリーを行いました。2日目は、早朝の海岸散歩のあと、塩づくりやBCモトクロスサイクリングの活動をしました。3日目は、貝のキーホルダーや貝の根付けを作る創作活動を行いました。子どもたちはルールを守り、楽しい3日間を過ごしました。



**学校たんけん (5/16)**

各教室をよく観察するために、特別な教室の入口には、2年生の作った問題が貼られており、それをクリアしながら各教室を回りました。2年生のお兄さん、お姉さんが、とても大きく見えました。